

ひろげる つなぐ かえる

expand
join
change

4 2012

2012年3月25日発行
通巻160号

コラム

三年間の指定管理業務を終えて

特定非営利活動法人 みえNPOセンター 代表理事 出丸 朝代

NPO物語 Vol.36

みえ災害ボランティア支援センター

センター長 山本 康史 事務局長 若林 千枝子

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



三年間の指定管理業務を終えて

特定非営利活動法人 みえNPOセンター 代表理事 出丸 朝代

特定非営利活動法人みえNPOセンターはこの三月末をもって、みえ県民交流センターの指定管理業務を終えることになりました。平成 21 年度からの緊張いっぱいだった三年間でしたが、今となってみるといろんな事があったものの、あっという間の三年間でした。その間に、県の姿勢も次第に変わっていきました。

私は二つの理由から、この民間委託ということに希望を持っていました。それは一つは、みえ市民活動ボランティアセンターのこれまでを知る者として官民で運営してきたものを民間に委ねる意義は大きいということ、もう一つは県が実施するNPO推進施策の一翼をNPOが担うことで公共の一部を民間が受け持つことにつながるということでした。

みえ市民活動ボランティアセンターの管理運営はとてもよくできたと思っています。利用者の満足度も高く、多様なニーズにも対応してきました。すぐれたスタッフの努力の成果です。一方県との協働の実態はどうかというと残念ながら良い成果は得られなかったというのが正直なところ。私たちの力不足もありますが、一貫性のない県のNPO推進施策とマインドの低下はいかんともしがたく、単なる委託業務でしかなくなってしまったと言わざるを得ません。

NPOの中間支援という役割はますます重要になっています。指定管理業務をやりながらのこの機能は魅力的ではありますが難しくもあります。NPOと県との間での業務委託の限界を強く感じました。業務委託という関係性からこれ以上を望むは無理なのかもしれませんが、少なくとも三重県で実施されるのであれば、お互い間でひと工夫する必要があると思います。

助成金情報

 環境  子ども  福祉

環境・子ども

「2012 年全労済地域貢献助成事業」 ～環境活動、子育て子育て支援活動を応援します!～

受付期間 4月3日(火) 当日消印有効

対象団体 日本国内を主たる活動の場とする、下記(1)～(3)のいずれにも該当する団体を対象とします。

- (1) NPO 法人、任意団体等 (NGO、ボランティア団体等)
- (2) 2011 年4月3日以前に設立で、1年以上の活動実績を有する団体
- (3) 直近の年間収入が300万円以下の団体(前年度の繰越金を除く)

対象活動 A. 環境分野

- (1) 地域の自然環境を守る活動
- (2) 循環型地域社会をつくるための活動
- (3) 地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動

B. 子ども分野

地域の中で、学校外の多様な育ちを応援するような活動

- (1) 子どもたちの豊かな遊びの場をつくる活動
- (2) 子どもたちが交流し学びあえる場をつくる活動

※詳細はHP 参照

助成金の額 総額 2,000 万円 (環境分野 1,000 万円、子ども分野 1,000 万円) を予定。1 団体に対する助成上限額 30 万円。

応募方法 HP より申請書をダウンロードし必要事項を記入、指定の必要書類を添付して、各 2 部を送付。
※ Fax、E-mail、持参による提出は不可。

問い合わせ先 全労済 総務部内 地域貢献助成事業事務局
〒151-8571 東京都渋谷区代々木 2-12-10
Tel 03-3299-0161(長倉) Fax 03-5351-7772

HP 90_eco@zenrosai.coop

HP <http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2012/120220.php>

子ども・福祉

平成 24 年度

「子育て家庭支援団体に対する助成活動」の実施

受付期間 4月27日(金) 当日消印有効

対象団体 就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動を行う民間非営利の団体、ボランティアグループ、NPO 法人等で、所定の要件(「申請時点で 1 年以上の活動実績を有し継続して運営している」等)を満たす団体

※ NPO 法人以外の法人格を有する団体(社団法人、財団法人、社会福祉法人、学校法人等)は対象外

対象活動 日本国内における就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動

<活動例>

- ・学習会活動(育児勉強会等の開催等)
- ・相談活動(子育て相談・カウンセリング等)
- ・情報提供活動(子育て情報誌の発行等)
- ・交流活動(親子の集い・情報交換の場の提供等)
- ・支援者養成活動
- ・託児(保護者等支援活動を行う際の一時預かり等) など

助成金の額 1 団体当り上限額 25 万円(総額最大 1,400 万円)

応募方法 HP から「助成申請書」をダウンロードし必要事項を記入、正本 1 部と副本(コピー) 1 部を、所定の必須添付書類とともに、団体が所在する都道府県の生命保険協会地方事務室(全国に 53 事務室)へ郵便(簡易書留)で送付。事務室への持参、宅急便・Fax・E-mail による送付不可。※詳細は HP 参照

問い合わせ先 生命保険協会「子育て家庭支援団体に対する助成活動」事務局

〒100-0005 千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル 3 階
Tel 03-3286-2643 Fax 03-3286-2730

HP <http://www.seiho.or.jp/social/home/home01.html>

「人を育てる」のは地域への最大のエンパワーメント

万協製菓株式会社 代表取締役 社長 松浦 信男さんにお話をうかがう

阪神・淡路大震災で本社・工場が全壊、多気町で一から再創業し、相手先ブランド名でのスキンケア製品の製造・開発等を社員3人から始め、約50倍の規模となった。

震災以降、企業はお金という物差しを持ちながら会社の中に社会貢献の考えを1ミリでも伸ばそうとする活動が大切であるということに思い至った。

企業が利益のために仕事を行うことは当たり前で、仕事以外の活動で地域や社員が成長するのではないかと。それが社会における企業の価値ではないかと思ひ、できる限り社員にそのように仕向けることにより地域を地域の企業が支えていくというのが「あるべき地域社会の姿」ではないか、と自らの存在する意味を位置づけている。

その取り組みの一環に多気町立佐奈小学校での出前授業「キッズISO14000プログラム(入門編)」(地球温暖化防

止策として家庭でできる省エネ)や三重県立相可高等学校/生産経済科1・2年生との「まごころteaハンドジェル」の共同開発・商品化がある。「まごころteaハンドジェル」は高校生がコンセプト、商品の中身、ネーミング、パッケージデザインまで手がけている。「人を育てるのは地域への最大のエンパワーメントであると思っている」との言葉に地域への愛着と誇り、強い意思を感じた。このことが、平成23年12月「地域思いビジネス共感大賞(三重県)」受賞に結び付く。



相可高校生との企画開発・検討のひとコマ

子ども

第11回トム・ソーヤースクール企画コンテスト

受付期間 5月17日(木) 必着

対象団体 【学校部門】

小学校・中学校または、小中学校より委託・協力・協働等によって当該事業を主催する団体。

小学校、中学校において授業や課外活動の一環として行われる活動で、小中学生が10名以上参加する企画で、かつ学校長の承認を受けたもの。

【一般部門】

定款・規約等が整備され、組織としての形態を有し、当該活動を主催する団体。

小中学生が10名以上参加する企画であること。

対象活動 子どもたちが参加する、自然の中での体験活動であれば、内容は問いませんが、ユニークさと創造性にあふれ、高い教育効果が得られる活動とします。

<活動例>

自然体験、地域交流、環境教育、史跡探訪、自然探検、アウトドアスポーツなど目的が明確であり、子どもたちの健全育成に寄与するもの。

支援金 学校部門、一般部門の中から、計50団体を選考し、実施支援金として各10万円を贈呈します。なお、応募いただいた団体には、参加賞としてチキンラーメン1ケース(30食)をお送りします。

※応募資格に該当しない団体は除く

表彰 支援団体から提出された実施報告書等を審査し、下記の通り表彰します。

【学校部門】

○文部科学大臣奨励賞…1校(団体)

100万円+チキンラーメン1年分

○優秀賞…1校(団体)

50万円+チキンラーメン半年分

【一般部門】

○安藤百福賞…1団体

100万円+チキンラーメン1年分

○優秀賞…1団体

50万円+チキンラーメン半年分

【トム・ソーヤー奨励賞】

企画内容がユニークであり、他団体への刺激や参考となり、さらなる飛躍が期待できる団体を選考し、表彰します。

○トム・ソーヤー奨励賞…チキンラーメン半年分

応募方法 HPより応募用紙申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の必要書類を添付して事務局宛に郵送。

問い合わせ先

財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団

「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」係

〒563-0041 大阪府池田市満寿美町8-25

Tel 072-752-4335 (大鷲、野村) Fax 072-752-1288

メール

zaidan@shizen-taiken.com

HP

http://www.shizen-taiken.com/contest2012/2012info.html

環境・子ども

高原環境振興財団

子供たちの環境学習活動に対する助成事業

受付期間 5月25日(金) 必着

対象団体

日本国内の保育園、幼稚園、小学校および子供会、町内会等の地域活動団体

対象活動

申請者が小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動

助成金の額

助成対象活動を行うために必要と認められる費用で、50万円を上限とする。総額400万円。

応募方法

HPより助成金交付申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の必要書類を添付して正副2部を郵送。 ※詳細はHP参照

問い合わせ先

高原環境振興財団

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27-1301

Tel 03-3449-8684 Fax 03-3449-2625

メール

mail@takahara-env.or.jp

HP

http://takahara-env.or.jp/bosyu/index.html

NPO から寄せられた募集とご案内

平成 24 年度 JICA ボランティア春募集

「体験談&説明会」

青年海外協力隊・シニア海外ボランティア等の募集説明会です。実際にボランティアに参加された OB、OG の体験談発表や活動紹介ビデオ上映、制度説明などを行います。OB、OG や JICA 職員との個別応募相談も実施します。

【四日市会場】

日時 4月8日(日) 14:00～16:00

場所 じばさん三重 4階視聴覚室

【津会場】

日時 4月19日(木) 18:30～20:30

場所 アスト津 3階交流スペース

対象 どなたでもご参加ください(ただし、ボランティア参加資格は20歳以上69歳までの日本国籍をお持ちの方)

参加費 無料

主催 (独法) 国際協力機構(JICA)

問い合わせ 三重県 JICA デスク(三輪田)

✉ jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

HP <http://www.jica.go.jp/>

蓮ダムの自然を楽しもう

第14回 奥香肌湖 春まつり

奥香肌湖の春の自然を満喫して頂きながら、蓮ダムの水を利用している人々と水源地域の人々の輪を広げ、蓮ダム水源地域の自然の豊かさ、水の大切さ、ダムの必要性を知って頂くイベントです。ダム湖巡視体験、アマゴ釣り、流木アート、ビンゴゲーム、餅まき、バザーなど、どなたでも自由に参加できますので、皆さんぜひお越し下さい。

日時 4月8日(日) 10:00～15:00
※雨天の場合は、4月15日(日)に延期

場所 津本公園(奥香肌湖畔)

主催 奥香肌湖春まつり実行委員会(森を考える会)

問い合わせ 松阪市飯高地域振興局森出張所
Tel 0598-45-0001
国土交通省蓮ダム管理所
Tel 0598-45-0371

明橋大二さん講演会とチャイルドラインチャリティー

『子育てハッピーアドバイス』

～子育てがラクになるコツ教えます～
チャイルドライン MIE ネットワークでは、子育て中の皆さんに大人気の『子育てハッピーアドバイス』シリーズの著者明橋大二さんをお招きし、子育て・子育て講演会を県内2か所で開催します。子育て中の方、子ども支援にかかわる方、若い世代の方

など、多くの方と一緒に学ぶ機会にしたいと思います。ぜひご参加ください!

【桑名会場】

日時 4月13日(金) 13:30～15:30

場所 桑名市大山田コミュニティプラザ

【多気会場】

日時 4月14日(土) 14:00～16:00

場所 多気町民文化会館

参加費 1,800円 ※事前申込み要(お子様の入場はできません。)

託児 一人につき1,000円

(小学校3年生まで)

各会場先着20名まで

※両会場とも事前にお申し込みください。応募締切は4月5日(木)まで。

ハッピーパーティー with 明橋大二さん

すでに400万部も読まれている「子育てハッピーアドバイス」の著者、明橋大二さんを囲んでみんながハッピーになれるパーティーをひらきます。どなたでもご参加ください。参加費の一部はチャイルドラインのためにつかわせていただきます。明橋さんのミニトークなどお楽しみ企画いろいろ!!

日時 4月13日(金) 18:30～20:30

場所 三重県総合文化センター

男女共同参画センター フレンドみえ 多目的ホール

参加費 大人/3,000円

11～15歳/1,000円

5～10歳/500円(5歳未満無料)
ぜひ家族でご参加ください!

※要申込み

対象 子育て中の方、子ども支援にかかわる方、若い世代の方

主催 (特活) チャイルドライン MIE ネットワーク

問い合わせ Tel & Fax 059-211-0024

✉ info@childlinemie.net

HP <http://www.childlinemie.net/index.html>

最前線兵士が見た「中国戦線・沖縄戦の真実」

～加害兵士にさせられた下級兵士～

桑名在住の中国戦線・沖縄戦体験者である近藤一さん(現在92歳)の講演会。

日時 4月20日(金) 13:30～15:30

場所 じばさん三重(四日市) 研修室6(4階)

参加費 無料

主催 三重県生活協同組合連合会

問い合わせ Tel 059-228-9913(岡本)

Fax 059-228-9915

✉ ichiro.okamoto@tcoop.or.jp

詩の力を見つめ直しませんか

「三重詩人」創刊60周年記念行事を開催します

東日本大震災以降、大きな喪失感の中で新しい連帯を模索する時代を迎えています。虚構の繁栄の中に氾濫する空しい言葉を乗り越え、今一度、詩の言葉を見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。「三重詩人」創刊60周年を迎え、その活動の意味を内外において確認し、今後の展望を考えたいと思います。

～『三重詩話会』の沿革～

1951年、錦米次郎、長浜長生らが第2次三重詩話会を発足。「三重詩人」を復刻発行。以後、四日市公害、芦浜原発、長良川河口堰、東日本大震災などの特集を組むなど、社会と個人の生き方を問う詩運動を展開してきた。1999年小野十三郎特別賞を受賞。

～プログラム内容～

①記念講演 13:00～14:30

◇5月5日「伊勢の思想」

長谷川龍生氏

(日本現代詩人会名誉会員)

◇5月6日「三重県の詩人たち」

尾西康充氏

(三重大学文学部教授)

②詩の朗読会、詩の教室

③音楽演奏

インディアンフルート 岡久司さん

ギター 吉川伸幸さん

ニッケルハルパー 鳥谷竜司さん

④「三重詩人」バックナンバー、詩集、活動資料等の展示

日時 5月5日(土) 12:00～19:00

5月6日(日) 9:00～16:00

場所 産業振興センター 3階 研修ホール、小研修室(松阪市本町2176 Tel 0598-26-5557)

対象 どなたでも

参加費 無料

問い合わせ 三重詩話会

Tel 0598-23-8175(加藤)

三重のまなび 2012 まなびいずとセミナー

「黄金のリングが美しい 金環日食」

5月21日、東海地方では実に837年ぶりの金環日食が起こります。日食は、太陽の前を月が通り過ぎることにより太陽が隠される現象。金環日食は、月の見かけの大きさが、太陽よりほんの少し小さいときにぴったりと重なると起こり、幻想的な黄金のリングが見られます。そ

こで今回は浅田英夫さん(天文研究家)を講師にお招きし、金環日食の魅力と見え方、楽しみ方・注意点をご紹介します。

日 時 5月12日(土) 13:30～15:30

場 所 三重県文化会館 1 階
レセプションルーム

参加費 無料

募集人数 100 名(事前申込制・先着順)
※当日会場にて日食観測メガネの販売を行います
※未就学児のご入場はご遠慮ください

応募方法 Tel、Fax、E-mail、HP、携帯サイト、生涯学習センター窓口へ
※申し込みの際は、講座名・参加者全員の氏名・電話番号を明記
5月11日(金)

応募締切 三重県生涯学習センター
問い合わせ先 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

Tel 059-233-1151

Fax 059-233-1155

E-mail manabi-kouza@center-mie.or.jp

HP <http://www.center-mie.or.jp/manabi/>

暮らしの中から原子力を考えてみませんか 「環境先進国ドイツから見た ヘンな日本の原子力」

ドイツでは世界に先駆けて国策として原発ストップが打ち出されました。方針決定後一年を経て、いまドイツの市民はどんな暮らし、どんな考え方をしているのでしょうか。ドイツから環境科学者であり、環境に優しい都市のコミュニティづくりを専門にしてきたハーン博士を迎えて、現在のドイツの実情を聞きながら、私たちの暮らしの中でのエネルギーについて、もう一度考え直してみたいと思います。一人でも多くの市民の参加をお待ちしています。

～プログラム内容～

13:30 基調講演

「ドイツから見た日本の原子力政策(仮題)」(同時通訳付)

講 師 エクハルト・ハーン博士

(元ドルトムント大学空間計画研究所所長)

14:30～16:00 シンポジウム

進 行 荒田鉄二氏(鳥取環境大学准教授)

パネラー 小林真美氏
(福島から母家で三重県下に避難してきている主婦)

内藤正明氏
(滋賀県琵琶湖環境科学センター長/環境科学者)

コメント ハーン博士

日 時 5月20日(日)

参加費 1000 円

会 場 鈴鹿カルチャーステーション
(鈴鹿市阿古曾町14番28号)

主 催 (特活) 鈴鹿循環共生パーティー

共 催 (特活) 循環共生社会システム研究所

問い合わせ先 (特活) 鈴鹿循環共生パーティー SJP
〒513-0828 鈴鹿市阿古曾町14番28号鈴鹿カルチャーステーション内
Tel & FAX 059-389-6603
携帯 090-1620-5087(杉本)

参加登録団体募集!

「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」

三重県では海岸漂着物対策に係る三県一市の統一行動として、愛知県、岐阜県、名古屋市にも呼びかけ、「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を実施しています。5月から10月頃までの伊勢湾流域各地で行われる清掃活動をホームページ等で紹介し、活動への参加を呼びかけています。

対 象 海岸、河川などで清掃活動等を予定しており、趣旨にご賛同いただける環境保全活動団体

応募方法 HPから登録申込書をダウンロードし必要事項を記入の上、Fax または E-mail で提出。

※登録団体は、県ホームページで紹介させていただきます。

※実施にあたっては、収集ゴミの処理など、受入れ市町との調整等を十分行われるようお願いします。

応募締切 9月30日(日)

問い合わせ先 三重県環境森林部水質改善室

Tel 059-224-2382(濱田)

Fax 059-229-1016

E-mail mkankyo@pref.mie.jp

HP <http://www.eco.pref.mie.lg.jp/isewan/06/cleanup-3.htm>

もうやめよう…ひとりで悩むこと!!

Salon de “TRUE BEAUTY”

あなたの想いや問題を同じ仲間と語り合い、分かち合いませんか? 笑いヨガでたくさん笑って、こころのモヤモヤをスッキリとさせ、生きる力の向上を目指しましょう。あなたの参加をお待ちしています。

日 時 毎月第二金曜

笑いヨガ

10:00～10:40

分かち合いの会

11:00～12:00

場 所 亀山市協働センター「みらい」

対 象 気分障害(パニック・強迫性・摂食・社交不安)、ひきこもり、職場いじめ、うつ、犯罪被害など<当事者や支えている方>

参加費 資料代 500 円

※事前申込み不要

主 催 気分障害のサポートグループ

“サロン ド トゥルービューティ”

問い合わせ先 Tel 090-6083-3683(福井)

HP <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/hoken/kibunsupport.htm>

E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました! 掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

(1) フォーマットに必要事項を入力のうえ、毎月10日までにお送りください。

(2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO センター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象: 三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくは TEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>

“地域とともに みなさまとともに”



三重銀行

理念と歩みから学ぶ

NPO物語 Vol.36

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。東日本大震災から学び、
三重県での
災害に備える

みえ災害ボランティア支援センター

センター長 山本 康史 事務局長 若林 千枝子

三重県のボランティアの方たちの支援をする
受け皿となる

開設された経緯についてお話しください

三重県は阪神・淡路大震災以降、地域防災計画の中にボランティアの受け入れをするということを謳っていました。当時は三重県と「NADみえ」(災害ボランティアネットワークみえ)が協働で体制を組みました。「NADみえ」は一定の役割を終えて自然解散しましたが、それに代わる受け皿として「みえ防災市民会議」(当時は三重県防災ボランティアコーディネータ養成協議会)、そこに日本赤十字社や社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会が入って月に1度会議を重ねていました。

地域防災計画では、あくまで地元で災害が起こった時にどうするかということですが、それをもう少し拡大して、近隣で災害が起こった時も支援に行くセンターを作ろうということをマニュアルで定めていました。その中で東日本大震災が起こったのです。決して近隣の災害ではありませんが、あの規模はオール日本で動かなくては行けないし、三重県からも何らかの支援を必ず行うことになるので、そのボランティアの方たちの受け皿として3日後の3月14日に開設しました。

多くの方々に支えられて

幹事会や事務局の体制、ボランティアの人数などお教えください。また活動展開の中でご苦労されたことは？

幹事団体は3月11日に臨時会を開き、メーリングリスト

で情報を共有して動きました。それぞれの役割ですばやく動いていただき、今も資金の面や、センター設置場所の面、その他いろいろと力を出していただいています。官民協働でできている強みを活かした仕組みを作れたと思っています。

事務局体制は現在有給スタッフ7人で、5人は三重県、2人は現地で雇用しています。2人とも被災者です。しかし、スタッフを雇用するまでの二カ月近くは、全部無償のボランティアで動きました。今も事務局のボランティアには、143名が登録をいただいています。実際に現地に行かれた方はボラパック36便648名(18歳~75歳)、延べにすると3,728人になります。それ以外に、泥まみれになった写真や思い出の品をこちらで綺麗にして戻すという活動(これは学校やNPO法人等19団体にご協力いただきました)、説明会をするときのボランティア、福島を中心に東日本から一時避難でこちらに来られている方々への支援のボランティアなど合わせると、相当な数の方・団体に関わっていただきました。

9月には台風12号による東紀州地域への支援も行いました。これにはバスで19便、延べ568名に参加いただきました(途中3便は台風15号のため欠便)。短い時間の中でいろいろな判断を迫られることが多く、また事前のオリエンテーションができないため大変でした。幹事団体にもスタッフとして人員を出していただくなどご協力いただきました。

支援に行くことで得たものを地域へ返していく
活動から見えてきたことはどんなことでしょう

ボランティアの本質は自律性、自発性だと思っている

ので、主体的に動けるような体制をとっていくことを考えていました。そういう意味でうちのボラバスにはお世話をするスタッフは絶対乗せたくなかったのです。参加者からは文句が出ることもありましたが、帰ってくると「これが三重県のシステムの素晴らしいとこや」と皆さん言ってくれます。それだけ苦しい思いを共有した後の達成感・連帯感ができるのだらうと思いました。

帰ってきた人たちは、地域の防災のキーマンになり、津波で被害を受けるということや、そこでのボランティア活動のことなどを周りの人に伝える伝道師の役割も、担ってもらいたいと思っています。被災地で1週間生活をしてくるという経験自体が、ボランティアに行った以上に三重県にとっての財産になるだらうと思っています。ボランティア休暇の仕組みを使って欲しいという気持ちもありました。県職員含め連合三重さんがずい分これに協力してくれました。根付ききっかけになるといいと思います。

東紀州災害支援の時、ボラパックを経験した人たちの多くは「センターの動きは遅い!」と文句を言い、センターの企画するバスを待たずに現地で活動していました。こちらが段取りしなくても行ける人たちが増えたのです。それは嬉しいことでした。ただ、これからの課題はその人たちがつながっていくにはどうしたらいいかということです。



側溝まできれいに

3年を目標に。被災地から学び、三重県での災害に備えつなげていく

これからの活動の方向は?

開設期間は一応3年を目標としています。そこまでは何かしらのお手伝いはしたいという大きな思いがあります。三重県の南部では将来、必ず東南海地震で東北の被災地と同じことが起こります。私たちの支援している山田町では例えば、産業の大部分がまだ再開できていないとか、仮設への引っ越しで地域コミュニティが分断されてしまった等、躓^{つまず}いていることが、見えてきています。では、三重県が今から取り組むべきことは何でしょうか。例えば、仮設住宅の敷地内にコミュニティづくりの場になり得る仮設店舗を置くような計画を事前にやっておく、避難が困難な人は事前に高台に住居を移す等。それを

本気で「やる」か「やらない」かだけです。東日本大震災からひとつでも多くのことを学ぶことが、亡くなってしまった方、今も災害に立ち向かっている方に対して最低限私たちにできることです。真摯^{しんし}に学び続けたいですね。

今までボランティアというと若者と主婦と年輩の方が多いというイメージですが、今回のボランティアでは、それ以外の方にもかなりの割合で参加いただいています。これは大きな地域の力につながっていくと思うし、そういう人をもっと増やしたいと思います。

平成16年にボラパックの冊子ができて、今でもそれが使われるように、今回も残せるものがこの活動期間で培われました。被災地支援、東北の支援というのは当然ですが、振り返って自分たちでできること、自分たちがなくてはならないことにつなげていきたい。それにつながるような収束の仕方というのを、是非していきたいと思います。その前にまだまだやるべきことがたくさんあります。具体的に4月から運行するボラパックⅡでは、「趣味」など共通の話題を通じて友だちをつくる活動を予定しています。支援をする、されるという関係性ではなく、お互いに対等な人間同士の絆を作っていきたいと思っています。東北までバスで行く、ということだけでも敷居が高いと感じるかもしれませんが、行くことでしか感じられないさまざまなことがあります。ひとりでも多くの方の参加を期待しています。



国外からも参加してくれました

【データ】

〒514-0009 三重県津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
T E L 059-226-6916
F A X 059-226-6918
E - m a i l center@mvsc.jp
ホームページ http://mvsc.jp/
センター長 山本 康史
事務局長 若林 千枝子
幹事団体 特定非営利活動法人 みえ防災市民会議
特定非営利活動法人 みえNPOセンター
三重県ボランティア連絡協議会
日本赤十字社 三重県支部
社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
三重県
防災危機管理部 防災対策室
生活・文化部 男女共同参画・NPO室
健康福祉部 社会福祉室

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

人・組織を育てるリーダー

NPO が 100 あれば 100 通りのリーダーが存在します。少なくともミッションを遂行するための強い思いがなければリーダーには成り得ません。その上でどのようなリーダーが人を育て、組織を育てていくのでしょうか。

私の NPO 経験の中で、「①ミッションを共有する、②ミッションを遂行するために役員の方とどうしたらいいかを考え合う、③相手を大事に考える」このことに真摯に向き合うことができれば自ずと人・組織を育てることができいくと思います。上下関係で考え、人を使う発想ではリーダーとは言いません。

経営学者の P.F. ドラッカーが「非営利組織の経営」の中でリーダーの資質について「自らへの関心を中心に置くリーダーは間違っただけ」というように述べています。自分をいかに抜けることができるかどうかで決まるのではないのでしょうか。



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

◆ ～行政の財政支援のあり方～

NPO 活動推進自治体ネットワーク 財政支援研究会 報告書
発行：NPO 活動推進自治体ネットワーク 財政支援研究会事務局
千葉県
発行日：2008 年 3 月

◆ ふくおか発・協働社会づくり

～育てよう地域力 つくろう共助社会～
NPO・ボランティアと企業、行政との協働についての提言
NPO・ボランティア団体と企業、行政との協働推進委員会編
発行：福岡県新社会推進部社会活動推進課
発行日：2009 年 3 月

◆ 協働による持続可能な地域づくりのための手法・ツール集

発行：環境省、地球環境パートナーシッププラザ (GEIC) 協力
発行日：2009 年 3 月

「コーヒー飲ん de 団体支援」寄贈先決まる!!

「コーヒー飲ん de 団体支援」の今年度の寄付贈呈先が 3 月 10 日 (土) に決まり、同日の贈呈式で、次の 4 団体に寄付金が贈呈されました。



今年度、ポスター投票の部には 9 団体、書類審査の部には 19 団体、応募いただきました。今回応募いただきましたみなさまをはじめ、ポスター投票に足をお運びいただきましたみなさまにも、この場を借りてお礼申し上げます。

【ポスター投票の部】各 3 万円

- ◆ 特定非営利活動法人津子ども NPO センター
- ◆ ライズ ※障害者スポーツ情報誌発行

【書類審査の部】各 5 万円

- ◆ 特定非営利活動法人三重ダルク
- ◆ 勇気の会 (三重県骨髓バンク推進連絡会)

※「コーヒーファンド」は、みえ市民活動ボランティアセンター内に設置されたコーヒーサーバーを使用された方から集まった寄付金で、自分たちの住む地域をよりよくしたいと願う想いが詰まっています。

それを地域で活動する市民活動団体・NPO に寄付する流れをつくることで、NPO の資金づくりとよりよい地域づくりを応援する仕組みです。

みえ市民活動ボランティアセンターでコーヒーを飲んでご寄付いただきましたみなさま、および今年度ご協賛いただきました下記企業様に厚く御礼申し上げます。

協賛いただいた企業：株式会社アイブレーン、アオキニック株式会社、株式会社阪本事務機、フォレストテクニカル

認証した特定非営利活動法人

(2012 年 2 月 10 日～2012 年 3 月 9 日認証分)

① 認証団体名	② 法人事務所の所在地	③ 活動分野	④ 認証年月日	⑤ 代表者
① 特定非営利活動法人 ハッピーファーム MKT	② 伊賀市依那具 2618 番地	③ 特定非営利活動法人 SR Plus	④ 特定非営利活動法人	⑤ 特定非営利活動法人
② 伊賀市依那具 2618 番地	③ 保健、社会教育、まちづくり、文化、環境、地域安全、人権、男女、子ども、経済活動、職業能力、その他	④ 2012 年 2 月 10 日	⑤ 理事長 松井 成樹	⑥ 2012 年 2 月 15 日
③ 保健、社会教育、まちづくり、文化、環境、地域安全、人権、男女、子ども、経済活動、職業能力、その他	④ 2012 年 2 月 10 日	⑤ 理事長 松井 成樹	⑥ 2012 年 2 月 15 日	⑦ 代表理事長 青山 栄資
④ 2012 年 2 月 10 日	⑤ 理事長 松井 成樹	⑥ 2012 年 2 月 15 日	⑦ 代表理事長 青山 栄資	⑧ 2012 年 2 月 15 日
⑤ 理事長 松井 成樹	⑥ 2012 年 2 月 15 日	⑦ 代表理事長 青山 栄資	⑧ 2012 年 2 月 15 日	⑨ 代表理事長 青山 栄資
⑥ 2012 年 2 月 15 日	⑦ 代表理事長 青山 栄資	⑧ 2012 年 2 月 15 日	⑨ 代表理事長 青山 栄資	⑩ 2012 年 2 月 15 日
⑦ 代表理事長 青山 栄資	⑧ 2012 年 2 月 15 日	⑨ 代表理事長 青山 栄資	⑩ 2012 年 2 月 15 日	⑪ 代表理事長 青山 栄資
⑧ 2012 年 2 月 15 日	⑨ 代表理事長 青山 栄資	⑩ 2012 年 2 月 15 日	⑪ 代表理事長 青山 栄資	⑫ 2012 年 2 月 15 日
⑨ 代表理事長 青山 栄資	⑩ 2012 年 2 月 15 日	⑪ 代表理事長 青山 栄資	⑫ 2012 年 2 月 15 日	⑬ 代表理事長 青山 栄資
⑩ 2012 年 2 月 15 日	⑪ 代表理事長 青山 栄資	⑫ 2012 年 2 月 15 日	⑬ 代表理事長 青山 栄資	⑭ 2012 年 2 月 15 日
⑪ 代表理事長 青山 栄資	⑫ 2012 年 2 月 15 日	⑬ 代表理事長 青山 栄資	⑭ 2012 年 2 月 15 日	⑮ 代表理事長 青山 栄資
⑫ 2012 年 2 月 15 日	⑬ 代表理事長 青山 栄資	⑭ 2012 年 2 月 15 日	⑮ 代表理事長 青山 栄資	⑯ 2012 年 2 月 15 日
⑬ 代表理事長 青山 栄資	⑭ 2012 年 2 月 15 日	⑯ 2012 年 2 月 15 日	⑰ 代表理事長 青山 栄資	⑱ 2012 年 2 月 15 日
⑭ 2012 年 2 月 15 日	⑯ 2012 年 2 月 15 日	⑰ 代表理事長 青山 栄資	⑱ 2012 年 2 月 15 日	⑲ 代表理事長 青山 栄資
⑯ 2012 年 2 月 15 日	⑰ 代表理事長 青山 栄資	⑲ 代表理事長 青山 栄資	⑳ 2012 年 2 月 15 日	㉑ 2012 年 2 月 15 日
⑰ 代表理事長 青山 栄資	⑲ 代表理事長 青山 栄資	⑳ 2012 年 2 月 15 日	㉑ 2012 年 2 月 15 日	㉒ 2012 年 2 月 15 日
⑲ 代表理事長 青山 栄資	㉑ 2012 年 2 月 15 日	㉒ 2012 年 2 月 15 日	㉓ 2012 年 2 月 15 日	㉔ 2012 年 2 月 15 日
㉑ 2012 年 2 月 15 日	㉒ 2012 年 2 月 15 日	㉓ 2012 年 2 月 15 日	㉔ 2012 年 2 月 15 日	㉕ 2012 年 2 月 15 日
㉒ 2012 年 2 月 15 日	㉓ 2012 年 2 月 15 日	㉔ 2012 年 2 月 15 日	㉕ 2012 年 2 月 15 日	㉖ 2012 年 2 月 15 日
㉓ 2012 年 2 月 15 日	㉔ 2012 年 2 月 15 日	㉕ 2012 年 2 月 15 日	㉖ 2012 年 2 月 15 日	㉗ 2012 年 2 月 15 日
㉔ 2012 年 2 月 15 日	㉕ 2012 年 2 月 15 日	㉖ 2012 年 2 月 15 日	㉗ 2012 年 2 月 15 日	㉘ 2012 年 2 月 15 日
㉕ 2012 年 2 月 15 日	㉖ 2012 年 2 月 15 日	㉗ 2012 年 2 月 15 日	㉘ 2012 年 2 月 15 日	㉙ 2012 年 2 月 15 日
㉖ 2012 年 2 月 15 日	㉗ 2012 年 2 月 15 日	㉘ 2012 年 2 月 15 日	㉙ 2012 年 2 月 15 日	㉚ 2012 年 2 月 15 日
㉗ 2012 年 2 月 15 日	㉘ 2012 年 2 月 15 日	㉙ 2012 年 2 月 15 日	㉚ 2012 年 2 月 15 日	㉛ 2012 年 2 月 15 日
㉘ 2012 年 2 月 15 日	㉙ 2012 年 2 月 15 日	㉚ 2012 年 2 月 15 日	㉛ 2012 年 2 月 15 日	㉜ 2012 年 2 月 15 日
㉙ 2012 年 2 月 15 日	㉚ 2012 年 2 月 15 日	㉛ 2012 年 2 月 15 日	㉜ 2012 年 2 月 15 日	㉝ 2012 年 2 月 15 日
㉚ 2012 年 2 月 15 日	㉛ 2012 年 2 月 15 日	㉜ 2012 年 2 月 15 日	㉝ 2012 年 2 月 15 日	㉞ 2012 年 2 月 15 日
㉛ 2012 年 2 月 15 日	㉜ 2012 年 2 月 15 日	㉝ 2012 年 2 月 15 日	㉞ 2012 年 2 月 15 日	㉟ 2012 年 2 月 15 日
㉜ 2012 年 2 月 15 日	㉝ 2012 年 2 月 15 日	㉞ 2012 年 2 月 15 日	㉟ 2012 年 2 月 15 日	㊱ 2012 年 2 月 15 日
㉝ 2012 年 2 月 15 日	㉞ 2012 年 2 月 15 日	㉟ 2012 年 2 月 15 日	㊱ 2012 年 2 月 15 日	㊲ 2012 年 2 月 15 日
㉞ 2012 年 2 月 15 日	㉟ 2012 年 2 月 15 日	㊱ 2012 年 2 月 15 日	㊲ 2012 年 2 月 15 日	㊳ 2012 年 2 月 15 日
㉟ 2012 年 2 月 15 日	㊱ 2012 年 2 月 15 日	㊲ 2012 年 2 月 15 日	㊳ 2012 年 2 月 15 日	㊴ 2012 年 2 月 15 日
㊱ 2012 年 2 月 15 日	㊲ 2012 年 2 月 15 日	㊳ 2012 年 2 月 15 日	㊴ 2012 年 2 月 15 日	㊵ 2012 年 2 月 15 日
㊲ 2012 年 2 月 15 日	㊳ 2012 年 2 月 15 日	㊴ 2012 年 2 月 15 日	㊵ 2012 年 2 月 15 日	㊶ 2012 年 2 月 15 日
㊳ 2012 年 2 月 15 日	㊴ 2012 年 2 月 15 日	㊵ 2012 年 2 月 15 日	㊶ 2012 年 2 月 15 日	㊷ 2012 年 2 月 15 日
㊴ 2012 年 2 月 15 日	㊵ 2012 年 2 月 15 日	㊶ 2012 年 2 月 15 日	㊷ 2012 年 2 月 15 日	㊸ 2012 年 2 月 15 日
㊵ 2012 年 2 月 15 日	㊶ 2012 年 2 月 15 日	㊷ 2012 年 2 月 15 日	㊸ 2012 年 2 月 15 日	㊹ 2012 年 2 月 15 日
㊶ 2012 年 2 月 15 日	㊷ 2012 年 2 月 15 日	㊸ 2012 年 2 月 15 日	㊹ 2012 年 2 月 15 日	㊺ 2012 年 2 月 15 日
㊷ 2012 年 2 月 15 日	㊸ 2012 年 2 月 15 日	㊹ 2012 年 2 月 15 日	㊺ 2012 年 2 月 15 日	㊻ 2012 年 2 月 15 日
㊸ 2012 年 2 月 15 日	㊹ 2012 年 2 月 15 日	㊺ 2012 年 2 月 15 日	㊻ 2012 年 2 月 15 日	㊼ 2012 年 2 月 15 日
㊹ 2012 年 2 月 15 日	㊺ 2012 年 2 月 15 日	㊻ 2012 年 2 月 15 日	㊼ 2012 年 2 月 15 日	㊽ 2012 年 2 月 15 日
㊺ 2012 年 2 月 15 日	㊻ 2012 年 2 月 15 日	㊼ 2012 年 2 月 15 日	㊽ 2012 年 2 月 15 日	㊾ 2012 年 2 月 15 日
㊻ 2012 年 2 月 15 日	㊼ 2012 年 2 月 15 日	㊽ 2012 年 2 月 15 日	㊾ 2012 年 2 月 15 日	㊿ 2012 年 2 月 15 日
㊼ 2012 年 2 月 15 日	㊽ 2012 年 2 月 15 日	㊾ 2012 年 2 月 15 日	㊿ 2012 年 2 月 15 日	

「NPO から寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月 10 日です。掲載希望の方は 10 日までに情報をデータでお送りください。(詳細 5 ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】〈津 市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 〈桑名市〉桑名市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 〈亀山市〉亀山市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 〈松阪市〉松阪市民活動センター/三重中京大学 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇学館大学 〈鳥羽市〉鳥羽 NPO ネットワークセンター・結 〈志摩市〉志摩市民活動支援センター/横山ビジターセンター 〈名張市〉名張市民活動支援センター/エリソート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザインセンター 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下 JA バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健康・安心・貢献
東海ろうさん

JAバンク
三重県下 JA / JA 三重信連

R270 **VEGETABLE OIL INK**

古紙 70% の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。